

1面より

よつになりました。結婚してしばらく丘へ越してきて、ほとんど知り合いもおらず、行政機関もどこにあるか知らなかった私が少しこの街に馴染めてきたのかな・・・と思います。

また講座に参加されたお母さんがたも個性が様々でも面白く、特に2歳児の対応などいい予習になりました。せっかくなので、これからもこのつながりを大切にしていきたいと思えます。

山口 英子

公民館講座に参加するのは初めてでしたが、講座に入る前に保育説明会や講座内容の詳しい説明があつて安心して受講することが出来ました。子どもが産まれてからテレビをゆつくり見る時間もないような生活でした。保育がある講座のおかげで2時間集中して講座を受けることができました。講座の内容もバラエティー豊かで子育てに必要な「心のゆとり」と「悩まずにすむ知識」をたくさん学べたように思いました。受講者のみなさんと様々な情報交換が出来、子育てに向かう元気をいただきました。

保谷駅前公民館

「お父さんと手打ちうどんに挑戦しよう」に参加して

吉良 祐二

私たち親子で毎週楽しみにしているバラエティー番組があります。いかにも都会にいる若者？が田舎ライフを楽しむという趣向。何でも自ら手作業でやりとげる所に共感が持てます。そこ

でうどん打ち。作り方、知識もそれなりに「ソバより簡単はず」と軽い気持ちで取り掛かる結果、そこには紙粘土の塊となった無様な物体がありました。考えるに小麦粉に水を入れるタイミングや量およびコネ方が均質ではないことが原因でしょうか。もっと「おばあちゃん」の話に耳を傾けてあげると反省しきり…心を尽くして作ってくれた漬物や煮物が「シヨッパイ」味となってしまうのは言うまでもありません。振り返って冒頭の番組。そこでも元氣な「おじいちゃん」が大活躍しています。

今回初めて手打ちうどん作り体験に参加させていただきました。小1と小3の娘たちは、最近お菓子作りや妻の調理を手伝うなど、料理に大変興味がある様子で、今回のうどん作りも何日も前からとても楽しみにしていました。

はじめに地元の方の説明を受け、いよいよ作業開始です。まずは小麦粉に水分を含ませて固めるのですが、これがなかなか思うように固まらず悪戦苦闘しました。次に、固まったものを足で踏み、棒で伸ばしていく作業では、子どもたちはとても楽しそうに行っていました。最後に、包丁で切ったうどんの完成です。太さはまちまちでも自分たちで作ったうどんの味はとても格別でした。

今回の体験で子どもたちはますます料理に興味を抱いたようです。とても楽しい体験をさせていたいただきありがとうございます。

田無公民館

自然環境について考える講座

一廃棄ペットボトルを使って栽培容器をつくる

身近にある廃品のペットボトルを使って、簡単な栽培容器を自分で製作します。そして、発酵肥料の効用という主題で、家庭菜園、不起耕栽培、菌根菌について講師の体験報告を聴きながら、循環する自然を学んでみましょう。

▼とき 3月30日(水)・31日(木) 13時30分～15時30分

▼ところ 田無公民館

▼対象 市内在住・在勤・在学者(小学4年生以上)

▼定員 24人

▼材料費 500円(発根剤・肥料・ガーゼ等)

▼講師 筒口典康(グリーンアドバイザーの会東京支部理事・元東京都立中学校技術科教師)

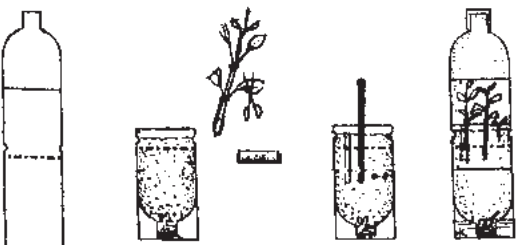
▼申込 往復はがきで往復の表に田無公民館あて記入。裏面に①住所②氏名③年齢(学年)④電話番号を明記する。返信の表に申込人の宛名を記入。裏面は無記入で投函してください。

※ご夫婦・きょうだいでの申し込みの場合もはがきは一枚必要。

※応募多数の場合抽選になります。

※参加者は2ℓ用ペットボトル

※締切 3月10日(木)の消印有効



柳沢公民館

若者が集結！発信！オールジャンル・フェスティバル柳沢

—柳フェスを春の一大イベントへ—

ジャンルを問わず一芸を持った若者たちが一堂に集結し、思いっきり発信するフェスティバルを開催します！音楽やダンス、研究や主張まで、さまざまな分野で活躍する若者の力と元気を身近に感じてください。

▼とき 3月27日(日) 13時～

▼ところ 柳沢公民館

▼対象 どなたでも

▼定員 100人

※なお出演者も現在募集中です。詳細は『公民館だより2月1日号』を参照(市のホームページ、トップページ右下のリンク『市の刊行物』からも閲覧可能)のうえ、電話で柳沢公民館まで！



サークル訪問

サークル「刺し子」

生地に刺し縫いしたものを総称して刺し子と呼びます。似たようなものは世界各地にありますが、日本では江戸時代に庶民の間で広まった刺し子が今に続いています。貴重な綿布を、重ねて刺し縫いすることで補強し、保温性を高めました。多くの美しい模様が生まれ、伝えられています。

平成12年秋に、柳沢公民館主催で「女性のための講座 刺し子を楽しもう」が開催されました。その参加者で平成13年1月に「サークル「刺し子」」を結成し、毎月第一金曜日の午前中、柳沢公民館で活動しています。

活動中は手を動かしながらおしゃべりにも花が咲きます。作品はさまざま。それぞれ得意なもの、作りたいものを、講師の吉浦和子さん(写真中央)にアドバイスを受けながら刺していきます。

メンバーの保谷さんは、お気に入りの小物入れをたくさん作ってきました。福村さんは大作のコートで、西村さんは実用的



▲取材の当日お集まりいただいたみなさん



なパソコンカバーやお道具入れを作りました。中馬さんが見せてくれたのは干支をモチーフにしたタペストリーです。戸川さんは現在エプロンを製作中です。「針を動かしている間は何か考えず、夢中になっています」「チクチクやっているのが好きなんですよね」「時間のあるときは一日中やっていますよ」

日々の暮らしの中から生まれた刺し子が、今、サークルのメンバーの生活の中にも根付いています。仲間と集まる場があることが制作の張り合いになり、アイデアを得る機会にもなっています。

「けっして大変なものではありません。コツコツやっていることができるものなんです。」刺し子の若い伝承者は不足している状況にあります。学べる場も決して多くはない中、「サークル「刺し子」」は伝統を受け継ぎ、つなごうとしています。

ただ今、会員募集中です。連絡先 保谷 466・2800